

# テーマ分科会 「幼保スタッフ」

※頂いた意見は、有志の意見であり、立場を代表するものではありません

日程	7月24日(月) 16:30- 18:00	場所	コミュニティ プレイス	参加者数	8名
有志で考えた 提示テーマ	<p><b>どんな環境の変化の中でも生きぬく たくましさを持ち、郷土が生きていく拠りどころ となるような子どもたちを育てたい</b></p>				
テーマに至った経緯	<p>不測の事態（災害や環境変化）があろうとも、あきらめずに頑張ろうとする子、そして町外に出ていっても、町内に残っても、郷土を愛し、郷土が戻ってくる精神的な居場所となるような場所にしたい。 そのためにも、子供たちが多様な人から認められたり、ほめられたりするような「つながり」を持てる環境を地域につくっていくことが必要なのではないかと。</p>				
どんな力がこれから求められるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人に対する思いやり、愛を備えた子</li> <li>・ あきらめずに続ける、たくましい子</li> <li>・ 変化への対応力（色々な災害や突発的なことが起こったときでも対応できる）</li> <li>・ 自分の意見を発表、表現して、やってみようと思える子</li> <li>・ 郷土が心の拠り所となって、どこにいってもつながっていただける場所、生きる安心感につながる場所になってほしい</li> </ul>				
その力を身につけるためにどんな「体験」、「経験」、「関わり」があるといいか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ キーワードは「つながり」</li> <li>・ 家族以外の人との関わりをつくってほしい。</li> <li>・ 近所付き合いや異年齢との色々な世代との交流をしてほしい。</li> <li>・ 他と関わることで、「誰かに認められる、ほめられる」経験・体験をしてほしい。親が難しいなら先生や、地域の人に。</li> <li>・ 憧れる存在となるような、あんな風になりたいと思えるような人を見つけたい</li> <li>・ 失敗ができるような、失敗して悔しいと思えたり、成功して次につなげようとおもてるような機会があると良い。</li> </ul>				
どうやってその環境を整えるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大人に子どもに関わるゆとりが必要。収入面など。</li> <li>・ 大人みんなが子どもを応援しようとする町になってほしい。</li> <li>・ むかしはみんなが集まれるイベントがたくさんあった。保護連など保護者対抗の運動会などがあった。園対抗のポーリング大会など。</li> <li>・ どういうものを望んでいるのかが分からない。</li> <li>・ あまり関わる場に出てこないような人たちと一緒にするイベントなどが必要。</li> </ul>				

## ■当日の様子



## ■アンケートより

・ 地域で子供たちを育てていけるような、場や機会づくりが必要かな！？と思います。そのためには町職員、教職員、幼保職員がキーパーソンとなり、地域や保護者に伝え誘っていくことが大切であると思います！頑張るぞ！

・ チームが話しやすい雰囲気で見え出しやすかった。20年後の大槌ということで難しいテーマだなあと感じて来たが、普段そのようなことを考える時間もないので良い機会だったなと思う。

・ ”まちづくり”について話し合う場があってもなかなか参加する人が少なかったりするので、一部の人たちだけでなく多くの人に参加できるといいなと思います。

# テーマ分科会 「大槌学園教員」

※頂いた意見は、有志の意見であり、立場を代表するものではありません

日程	7月25日(火) 15:00- 16:30	場所	大槌学園 ランチルーム	参加者数	47名
有志で考えた提示テーマ	子どもたちの可能性を最大化させるため、地域や保護者と目標を共有しながら、積極的に助け、町民など関わる全ての人々が誇れる学園にしたい				
テーマに至った経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・劇的に変化をする社会への適応能力などを持ってもらいたい。</li> <li>・また自分で考え、自分で行動、決断できる子になってもらいたい。</li> <li>・それはもっと教員自身が時間を作らないと子どもたちに向き合う時間が取れない。</li> <li>・また上記の子どもたちが育つためには、保護者地域との関わりが不可欠。</li> <li>・もっと地域保護者を頼り、巻き込み、教員自身も業務効率化が図られ、大槌学園を誰もが誇れる学園にしていきたい。</li> </ul>				
これからの子どもたちにはどんな力が求められるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立する力、自ら判断して、決断する力</li> <li>・心身ともに健康、できないときに周りに力を求める力、受援力</li> <li>・チャレンジしようと思う気持ち、行動力、愚痴の言いつ放しにしない</li> <li>・忍耐力、我慢して取り組む力</li> <li>・変化に対する対応力、適応能力</li> <li>・情報を選択する力</li> </ul>				
大槌学園をどんな学園にしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域、保護者、教員が共通の思いを持って進む学園</li> <li>・保護者、地域の人々が気軽に来られる学園、町の自慢の学園に</li> <li>・一人ひとりの子どもたちの良さを最大限に伸ばすことのできる学園</li> <li>・お互いの失敗や傷みを感じ、多様性を認め合い、支え合うことのできる学園</li> <li>・子どもたち主体の気持ちを引き出し、自己肯定感が高く認め合える学園に</li> <li>・小中一貫、ふるさと科などの取り組みを活かした学園に</li> </ul>				
その時のハードルになっているものはなにか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域、保護者、教員それぞれが子どもたちにもっと失敗をさせる、手を貸さない、許容するような文化を持ってほしい</li> <li>・学園の一年に見通しが持てない</li> <li>・多忙感。忙しいためもっと地域と関わりを持ちたいと思ったとしてもできない</li> <li>・それぞれの立場の人たちで話し合い、分かり合う場、時間がない。</li> <li>・もっと地域や保護者に学校を助けて欲しい。</li> </ul>				
それを解決するために必要なこと、力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと地域や保護者などの外部に頼っていききたい（部活動のサポートなど）</li> <li>・教員の業務を見直すことでの多忙化解消。</li> <li>・本来の意味で生徒が主体となった行事を行う</li> <li>・目標と計画を明確化することで、それを教員や地域保護者と共有していく</li> <li>・外部との交流などへの参加</li> </ul>				

## ■当日の様子



## ■アンケートより

・様々な職場において経験してきたり、学んできたりしたことを大槌学園というくくりで熟議することができたことがまず良かったと思います。各自秘めている思いや考えを伝え合い共有することは非常に重要ですが、今までそういう機会は殆どとれませんでした。一人ひとり、率直に思いや考えを伝えられたせいか、その後も先生方の表情が明るく、有意義だったようです。

・ワークショップの継続、地区ごとにもワークショップしたいです。

・地域の方とのつながりを強くしていきたいと感じます。

# テーマ分科会 「吉里吉里学園教員」

※頂いた意見は、有志の意見であり、立場を代表するものではありません

日程	7月13日(木) 17:30- 19:00	場所	吉里吉里小学校 校長室	参加者数	4名
有志で考えた 提示テーマ	郷土の良さを理解し、郷土を愛する力を醸成し、 ふるさとに住む人全体、地域全体を学ぶ場に				
テーマに至った経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大槌には郷土の良さを教えることのできる地域資源が豊富にあり、これからの町のためにも、子どもたちにとってもふるさと大槌を舞台に学びを深めることができるのは非常に重要。</li> <li>・また幼保小中高と大槌で学べることは多くあり、またお年寄りたちも学ぶことのできる町にしていきたい。そうすれば子どもたちにとっても結局良い影響が出てくる。</li> </ul>				
どんな力がこれから求められるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当たり前のことを当たり前でできる力</li> <li>・人と関わる力、コミュニケーション力、協働する力</li> <li>・郷土の良さを見つけ理解できる力</li> <li>・外部と交流する力、外部のことを受け入れられる力</li> </ul>				
その力を身につけるためにどんな「体験」、「経験」、「関わり」があるといいか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふるさと科」で大槌全体として郷土芸能を学ぶ日があってもいい。郷土芸能を共通で学ぶ日を作ることで参加しやすくなるんじゃないか。</li> <li>・また発表の機会を持つ方がよい。なるべく外部に対して交流したり、発表したりすることで内外を比較して客観視できる機会となる。</li> <li>・外国語活動を軸にして、小中高一貫となるような活動にしたい。大槌には「グローバルを学びながら、ローカルを大切にすることのできる町になる可能性が多いにある。</li> </ul>				
学校外の人たちに求めたい力、協力してもらいたいことはなにか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源を学校の教育に取り入れていきたい。郷土芸能や子どもの見守り活動。また大槌には色々なスペシャリストがいる。そういう人たちの力を入れていきたい。</li> <li>・幼児はこれからの子どもの育ちを大きく左右し、高校段階は大槌から出る最後の段階。大槌を学ぶ学びを深くしながら、ふるさとを学べる機会。幼保小中高の連携をしたい。</li> <li>・先生が責任を持たずに関わりを持つことの出来る場を増やして欲しい。</li> <li>・お年寄りが学校に来て、子供たちと一緒に学ぶことのできる場を。幸せに豊かなくらいができるお年寄りが増えれば、町にも活気がでてくるはず。</li> </ul>				

## ■当日の様子



## ■アンケートより

- ・教育は人づくり、地域づくりと考えるとたくさんの人達の関わりが必要だし、それを束ねる方針が絶対に必要だと感じました。
- ・底辺の意見・発送をこのように大切にしたい提案は画期的。大胆で夢のあるものに！
- ・吉里吉里や大槌の未来を考える良い機会になりました。教育とは言いながらも、子どもたちだけではなく、各世代、とくにシルバーの人たちまで関わりを持つような形で改革していけるような気持ちになってきました！

# テーマ分科会 「大槌高校教員」

※頂いた意見は、有志の意見であり、立場を代表するものではありません

日程	7月19日(水) 16:00— 17:00	場所	大槌高校	参加者数	6名
有志で考えた提示テーマ	探究心を持ち、学び続けることのできる子どもを育てるために、「交流」を大切にしたい。 本物の人、本物の学びと出会える機会を				
テーマに至った経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来が予測できない今、子どもたちに求められるのは、学び続ける意欲、環境に適応していく力が最も重要。</li> <li>・そういう力を付けていくためには、感性をいかに育てるかが大事。その感性は異なる人（世代、地域、国）との交流が不可欠。また、本物を感じる経験が不可欠。</li> <li>・そういうものに出会える機会や場をコーディネートしてもらえるとありがたい。</li> </ul>				
どんな力がこれから求められるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学ぶ意欲。勉強の必要性や、何に役立つかなどを感じていない。</li> <li>・情報を処理し収集する力。インターネットなどのメディア視聴時間ばかりが増え、鵜呑みにしてしまう。</li> <li>・将来が予測できない時代なので、環境に適応していく能力。探究心を持ち、学び続ける力が必要。</li> <li>・自分で解決しようとする力。また思考する力。</li> </ul>				
その力を身につけるためにどんな「体験」、「経験」、「関わり」があるといいか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成功体験も失敗体験もそれぞれできるような「夢中になれるような経験」を積み重ねてあげたい。それは行事や部活動などがあたるのではないか。</li> <li>・異文化、異世代や自然などとの交流を行って欲しい。海外や他校とのつながり、地域の人との交流の中で生徒たちは育つ。</li> <li>・芸術や読書など深く感情に触れることのできる経験をしてほしい。</li> <li>・発表会や討論の機会など表現することの機会を与えたい</li> </ul>				
学校外の人たちに求めたい力、協力してもらいたいことはなにか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの数が減っている。学校規模を増やすことで教員の数も増える。そうすれば関わる大人の数は増えるはず。</li> <li>・教員も多忙。部活動を地域型スポーツクラブにすることはできないか。</li> <li>・大きなスポーツの大会など他の地域からの選手などと交流できるような場所がほしい。</li> <li>・地方地域なので本物と触れる機会がすくない。学問も芸術も本物と触れる機会をつくっていききたいし、それをコーディネートしてほしい。</li> </ul>				

## ■当日の様子



## ■アンケートより

・短い時間でしたが、激動の時代を生きていくために子どもたちにどのような力を身に付けさせるべきなのか、どのような方法があるのか難しい問題であるが、考え続けなければならないと思いました。

・他の先生方の考えも聞けて、とても良かった。自分では思いついていなかった考えも聞くことができて共有できた。

・教育は人作り。人作り＝まちづくりなのかもしれません。そして教育にはお金がかかる。これをどうするかが今後の課題だと思います（税収も少ないですよね）

# テーマ分科会 「大槌高校生徒」

※頂いた意見は、有志の意見であり、立場を代表するものではありません

日程	8月5日(水) 16:00— 17:00	場所	大槌高校	参加者数	16名
有志で考えた提示テーマ	<b>誰かの悩みや課題を解決していくために 交流を通して、自分の意見や考えを深め 失敗しても自ら行動してみる機会</b>				
テーマに至った経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大槌にはアイデアや企画力がある人が必要。でもそれだけではなく、実際に実行できる人が必要なのではないか。</li> <li>・個人としても誰かに頼られたり、誰かの悩みや課題を解決でき、思いやりのある大人になっていきたい。</li> <li>・そのためには様々な人との交流を通して、相手の意見を理解したり、自分の意見を確かなものにし、また具体的に何か失敗してもよいから実行してみる経験を持っていきたい。</li> </ul>				
大槌のここが好き (好きな場所、思い出、尊敬する人など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大槌の人 (家族、兄弟、面白い人が多い、挨拶をしてくれる)</li> <li>・食べ物 (大槌の銘菓、海産物)</li> <li>・自然 (海、山、川、森、動物が至る所にいる)</li> <li>・場所 (母校小学校、グラウンド、遊んだ場所、大町公演)</li> <li>・イベント (花火大会、釣り)</li> </ul>				
もっと大槌がいい町になっていくためにはどんな人が必要だろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発想が豊かで前向きに意見を発言し、アイデア企画力がある人</li> <li>・大槌のために積極的に行動を起こす人、発想だけでなく実行できる人</li> <li>・大槌の実情や課題をよく知っている人</li> <li>・何ごとにも諦めないで一生懸命な人、貫き通す人</li> <li>・ユーモアなどで人を明るく出来る人</li> </ul>				
みんながなりたい大人って?	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意志を貫き通せる人、中途半端に終わらせない人</li> <li>・積極的に行動し、よく働く人</li> <li>・相手の立場にたって行動ができる人、思いやりのある人</li> <li>・誰かから頼られる、誰かの悩みや課題を解決できる人</li> <li>・何かに囚われていない自由な人</li> <li>・周りを明るくでき、ユーモアを忘れない人</li> </ul>				
そういう人を育てるために今、どういう経験、体験、関わりがあるといいだろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見を言ったり、周りの人を理解する場</li> <li>・大槌を好きになる、大槌のことを知る</li> <li>・自分で考え、自分で企画してみる。やりたいことを見つけている。マイプロ。道標がない。失敗、挫折の経験。</li> <li>・たくさんの大人と関わる、ワークショップに参加する経験。</li> <li>・他校交流や職場体験などの交流</li> </ul>				

## ■当日の様子



## ■アンケートより

・子どもの教育環境を少し見直したほうがよいと思う「自分が何か言ったところで意味もないし、何も変わらない」と自己主張をあまりしない子どもが増えてきていると思う。だからこそ、子どもの意見がしっかり受け入れられるんだというのを目にみえてわかるような環境にすべきだと思う。自分に自信を持ったり、夢を追いかける子どもが増えれば、きっと大槌をもっと明るく活発な町になると思う。そして教育面でみんなから認められる町が作り出せれば、人口増加もありうる話だと思う(教育面にかぎらず何かしら特化した町をつくれればよいと思う)

・これから、大槌がもっと活気づくために、私たち自信が積極的に様々な活動をしたほうがよいと思います。ですので、大人になっても何かしらの活動などをして大槌町を活発にしたいです。大槌の教育がよくなることを祈っています。

# テーマ分科会 「大槌学園生徒」

※頂いた意見は、有志の意見であり、立場を代表するものではありません

日程	7月10日(月) 16:15-17:45	場所	大槌学園 大会議室	参加者数	18名
有志で考えた 提示テーマ	<b>大槌のことが好きで、周りから信頼され、 人に貢献することができる人を増やすために</b>				
テーマに至った経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大槌の町が抱える課題を解決でき、そして自分たちとしてもなりたい大人像は、①まず大槌のことを思って大槌のことを好きな人、②周りから話しかけやすく頼ってもらえる人、③元気で貢献したいという意欲を持っている人</li> <li>・そういう人を増やすために必要な機会は、「ふるさと科」を充実させること、その中では地域の先生や親ではない人たちと話す機会を増やすこと（町レクなども）。ボランティア活動の機会をつくること、他の地域の人たちとの交流を通して大槌の良さを知ることが必要。</li> </ul>				
大槌の抱える課題を解決する人ってどんな人だろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなから慕われ、話しやすく、信頼できる人</li> <li>・誰にでも優しく出来る人</li> <li>・大槌のことが好きで、大槌のことに積極的になれる人</li> <li>・活気があり、元気な人</li> <li>・郷土芸能などをちゃんと仕切れる人（伝統芸能がなくならないために）</li> </ul>				
自分がなってみたい大人像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らが地域に貢献できる人</li> <li>・あいさつが明るくでき、周りを笑顔にできる人</li> <li>・仕事ができ、積極的に何事もやる大人、キャリアウーマン</li> <li>・礼儀正しく真面目な常識人</li> <li>・優しく信頼される人。自分が受けた思いやりを返すことのできる人</li> <li>・一緒にいて楽しいと思える人</li> </ul>				
大槌の課題を解決する人材と自分がなってみたい大人像の共通点ってどこだろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優しい人、信頼される人になる</li> <li>・大槌のことが好きで貢献できる、大槌をよく知っている人</li> <li>・正義感のある人、リーダーシップの取れる人</li> <li>・頭が固くなく、積極的にアイデアを出せる人</li> </ul>				
そういう大人になるためには、どんな「体験」「経験」「チャンス」があればいいだろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人たちとの町レク</li> <li>・職場体験など大槌っぽい人になるために町民と触れ合う機会を増やす</li> <li>・大槌について調べ、発表したり、実行したりする</li> <li>・学校全体で大槌のことを考える時間をつくる</li> <li>・普段の生活から意識する</li> <li>・他の地域の人、フォートブラッグなどの姉妹都市を含め交流する</li> <li>・大学で色々学んで帰ってきたいので、中学校の段階から大学や専門学校などの進路を考えられるような機会がほしい</li> </ul>				

## ■当日の様子



## ■アンケートより

- ・生徒が将来を考える機会となりキャリア学習の機会となった。
- ・先生自身がこういうワークショップのファシリテーターをやることを通じて大槌のことを知り、大槌に愛着を持つきっかけになる。

# テーマ分科会 「吉里吉里学園生徒」

※頂いた意見は、有志の意見であり、立場を代表するものではありません

日程	7月27日(木) 14:10- 15:00	場所	吉里吉里小学校	参加者数	5名
有志で考えた提示テーマ	大槌を愛し、大槌のために何かしたいという人を増やしたい。そのために地域を深く知り、自分たちが地域の人たちのために何かをやりたい				
テーマに至った経緯	大槌が好きで、大槌のために何かしたいという人が大槌の課題解決をしていく中心になっていくはず。また思いとしては、誰かのために役立てる人、誰かの悩みを解決できるような人になっていきたい。もっと大槌を好きになるためにも、もっと大槌を知りたいし、地域の人たちと交流できる何かを自分たちが主体となってやっていきたい。				
大槌の抱える課題を解決する人ってどんな人だろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大槌町を好きな人、大槌町を何かしたいという思いがある人</li> <li>・大槌町を誰よりも大切だと思っている人</li> <li>・課題を解決していこうとする挑戦心と発想力、企画力</li> <li>・面白い人</li> <li>・どう改善していくか一緒に考えてくれる人</li> </ul>				
自分がなってみたい大人像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他人の悩みを聞いて、解決できる人</li> <li>・人の役立つ人</li> <li>・自分がスポーツなどで活躍することで町民を元気にしたい</li> <li>・町に貢献する、町の課題を解決できる大人になりたい</li> <li>・たとえ大槌町の外に出ていったとしても、地域になにかしたい、地域のことを考え続けられる大人になりたい。</li> </ul>				
そういう大人になるためには、どんな「体験」「経験」「チャンス」があればいいだろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大槌にいても、野球で技術面を向上させてくれる人や良い指導者がいればよい</li> <li>・大槌の特産品、郷土料理をめっちゃ好きになってもらうために、早い年齢で試食させたい。</li> <li>・町の人達ともっとふれあう機会がほしい。</li> <li>・地域行事をもっとやってほしい。登下校のときにいるおじいちゃん、おばあちゃんに話しかけられるぐらいもっと親睦を深めたい。</li> <li>・大槌の今、大槌の実態を知るような機会を増やしてほしい。何かをしたくてもわからない。</li> <li>・大槌町の人たちの手助けになるようなことを実際に自分たちでやってみたい。</li> </ul>				

## ■当日の様子



## ■アンケートより

・今まで20年後の大槌を知るという機会がなかったので、今回それを知って、それをもとに自分たちがどうすればいいか、何がしたいかを考えることができたのでとても楽しかったです。

・大槌の今の現状について知ることが出来たし、将来自分がどのようにして大槌に貢献していけるのかについて考えるととてもいい機会になった。

# テーマ分科会 「放課後教育団体」

※頂いた意見は、有志の意見であり、立場を代表するものではありません

日程	7月20日(木) 10:00- 12:00	場所	ワーカーズコープ	参加者数	13名
有志で考えた提示テーマ	「主体性」「郷土愛」「多様な人と関わる力」をつけるために子どもたちが地域で学び、地域でチャレンジする機会や環境をつくる				
テーマに至った経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちに求められる力は①壁にぶつかっても諦めない向上心や主体性②郷土愛③地域の多様な人と関わることのできるコミュニケーション力である。</li> <li>・そのために必要な体験、経験、関わりは、地域の多様な人と関わる中で大槌ならではのもの(自然、震災、人など)を学ぶ機会、また実際に地域でチャレンジする機会、チャレンジで得た学びを外に発信する機会が必要である。</li> <li>・またその基盤を整えるためにも団体がサステナブルな形で続くようなハードと予算の整備が急務</li> </ul>				
どんな力がこれから求められるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な人と関わるためのコミュニケーション力。そのための議論する力や自分の気持ちを言葉にする力、聴く力。</li> <li>・困難に負けない向き合う力、向上心。</li> <li>・自分の意思で選択して動く主体性。</li> <li>・周囲への感謝など誰かを思いやれる。</li> <li>・郷土愛</li> <li>・多様性を受け入れる力</li> </ul>				
その力を身につけるためにどんな「体験」、「経験」、「関わり」があるといいか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の多様な世代(年上、年下、先生、大人)との関わり</li> <li>・自然や郷土料理など大槌だからこそあるものと触れ合う体験</li> <li>・リーダーやフォロワーなどの役割に実際になってみる経験</li> <li>・他の地域や海外など大槌の外に出る機会</li> <li>・震災や大槌のことを学び、発信する機会</li> <li>・大槌の産業など仕事を体験する機会</li> <li>・自分の思いを言葉にする、聞いてもらう機会</li> </ul>				
どうやってその環境を整えるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体がサステナブルな形で続くようなハードと予算の整備</li> <li>・各団体での情報共有や交流</li> <li>・自治会との連携</li> <li>・各団体や地域、保護者などをコーディネートしてくれる人の配置</li> <li>・地域のロールモデルなど子どもに会わせた</li> <li>・外の人を受け入れるための住居、宿泊などの環境整備</li> <li>・地域で子どものチャレンジを後押しする雰囲気づくり</li> <li>・子どもと交流できる地域イベント</li> </ul>				

## ■当日の様子



## ■アンケートより

・団体がまとまって1つのテーマを考えることで多様な意見が聞けて勉強になった。テーマを掘り下げて考えると難しい。コーディネートする人が中心になり、話し合う場がこのようにあればいいと思う。

・多様性を受け入れる。チャレンジに寛容とはどういうことか。みんなで話す機会があれば。大槌町の全ての人、組織と一緒に追いかけていく”まちづくり”の夢がほしいというかあるといいと思います。



# テーマ分科会 「地域」

※頂いた意見は、有志の意見であり、立場を代表するものではありません

日程	7月29日(土) 14:00- 16:00	場所	子ども教育センター 「OLA I」	参加者数	7名
有志で考えた提示テーマ	郷土を愛し、郷土で深く体験をするような機会を増やしてあげたい。地区の中でも様々な交流や体験ができるようにしていきたい。				
テーマに至った経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土の歴史、つながりを知ることで郷土を大切に思う子どもに育ってほしい。また、自分の意見を持ち、自分たちだけで失敗経験をしながら進めていくような機会をつくる必要がある。</li> <li>・そのためにも地区での子ども会活動など地区で子どもたちを支える体制を作っていくべき、そこへの参加者を増やすような方法も考えていく必要がある。</li> </ul>				
どんな力がこれから求められるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立する力、子どもたちだけでチャレンジしようとする力</li> <li>・周りの意見を聞ける。</li> <li>→兄弟が少ないため、家族もそれ以外も何でもしてあげようと思ってしまう</li> <li>・自然を愛する力</li> <li>・郷土を愛する力(郷土の歴史、郷土とのつながり、人)</li> <li>・他者に対して自分の意見が言える、自分の意見を熟慮できる。</li> <li>・情報を処理する力。情報があまりすぎて自分の意見を持っていない。</li> </ul>				
その力を身につけるためにどんな「体験」、「経験」、「関わり」があるといいか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人ホームへの訪問など高齢者との交流を増やすことで多様な世代との価値観などを感じてほしい</li> <li>・夏休み子ども会活動などは上下関係を考える上でも非常に重要な役割を担っている。参加者をもっと集めるような工夫をしてほしい。</li> <li>・自分なりに燃えるもの(熱中できること)を見つけてほしい</li> <li>・実際に体験するような機会をつくるべき、登山やそば刈りなど。そこで危険なことが何かを考えるようになる。</li> <li>・自分たちだけでやってみて、なにかをつくる経験をしたほうがよい</li> </ul>				
町行政として、町民として取り組んでいくことはなにか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもと地区の関係を考えるべき。ラジオ体操など子ども会の活動をもう少し充実させていく必要がある。</li> <li>・住民でできることはやる。</li> <li>・世代が違う、時代が違うではなく多世代で議論していくような場がほしい</li> <li>・町民全体で家族以外と食事を取るなどを考えていきたい。そうすれば話をする機会も増えるし、マナーの確認などもできる。</li> <li>・もうすでに陣屋を実践している。そこに子どもたちを呼んだり、参加者を増やしていくことなどをしていきたい。</li> </ul>				

## ■当日の様子



## ■アンケートより

- ・人それぞれの考え方もあることですが、お互いに共有できるような自由に話し合える場が必要ではないでしょうか。
- ・「まちづくり」はひとづくり、「人作り」は教育と言われてきた。これからも教育に力を入れて欲しい。
- ・もっと回数を増やして具体的な実行をしていきましょう。

# テーマ分科会 「商店・企業」

※頂いた意見は、有志の意見であり、立場を代表するものではありません

日程	7月28日(金) 18:30- 20:00	場所	大槌町役場 大会議室	参加者数	7名
有志で考えた 提示テーマ	<p><b>自分を見つめ、自分のやりたいことを諦めないで実現 してみる経験が必要。 本気で大人と話す場をつくっていききたい</b></p>				
テーマに至った経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからの社会ではチームで働いたり、自分の思いで行動してみる機会が必要</li> <li>・そのためには様々な体験の機会から自分が何が好きなのか、何に向いているのかを考えていくことが重要。ふるさとを舞台に体験できる場を作っていく必要がある。</li> <li>・また失敗などの経験をすることも重要。そのためには自力でやってみる経験が必要。またそういう経験をしてきた大人との本気の対話をする場をつくっていききたい</li> </ul>				
いま子どもたちに学んでほしいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームで動く経験をしてきてほしい。</li> <li>・相手が何を考えているのかを察するコミュニケーション</li> <li>・様々な体験の機会を持って欲しい。少しの体験から自分の興味に気付くこともある。</li> <li>・大人が無理だと決めつけているところがある、子どものやりたいことを実現してあげられるような機会をつくってあげたい。</li> <li>・大槌の歴史 教員もどうしても入れ替わってしまう地元の歴史は地元の人でしていく必要がある。ふるさと科などにも積極的に参加していききたい。</li> <li>・現実的でドライな子が多い。がむしゃらに真剣になれる何かが必要ではないか。</li> <li>・自分が何をやりたいのかを考え、どうしてそれをしたいのか、なぜなのかという問いを持つことが重要。それが思考力や疑問力をつける。</li> <li>・職場体験以外でも商店と交流するような機会があると良い。</li> </ul>				
子どもたちに具体的に体験させてあげたい機会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の人が人生の講師になって話す。 郷土芸能にける思いや失敗談（リアルな大人の姿）を子どもたちに伝える</li> <li>・大人と子どもが本気で話す場を設けたい。少人数で。</li> <li>・子どもが一人でやる機会を作りたい。子どもたちの自己表現を止めるべきではない、子どもにはそれぞれの表現あるはず。</li> <li>・大槌の食材を使ったフルコースを子どもと一緒に考え、つくる。そこで大槌の郷土の食材を知り、大槌の人との交流を深めることができる。</li> <li>・職場体験スタンプラリー ひとつの職場だけではなく、色々なところにいける。</li> <li>・大槌の歴史を深く知るような機会が必要、そうすれば好きになるし誇りを持つ。英語だったりで発信する機会があってもよい。</li> </ul>				

## ■当日の様子



## ■アンケートより

- ・違う職種の方と話すのは面白いと思いました。なんとなく思っていたことを話す機会いいですね。もっとたくさんの大人が参加すると思います。
- ・テーマは基本的なものだったので取り掛かるには適当だと思います。子どもたちというよりも大人も一緒にできたらとおもいます。
- ・「元に戻すのではなく、新しくつくる」これだと思いました。

# テーマ分科会 「保護者」

※頂いた意見は、有志の意見であり、立場を代表するものではありません

日程	7月20日(木) 18:30- 20:00	場所	大槌学園 ランチルーム	参加者数	10名
有志で考えた 提示テーマ	<b>困難に立ち向かう自立した人でありながら、 思いやりを持って助け合う子どもに育てるため 地域との関わりを増やしていきたい</b>				
テーマに至った経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな困難が降りかかろうとも、自分を信じる力、乗り越える力が必要。</li> <li>・褒められる経験も同様に必要。</li> <li>・また郷土を愛する気持ちを持ってもらうことが重要ではないか。</li> <li>・それを生み出すべく、地域の大人との交流を増やしていくことが大切ではないか</li> </ul>				
これからの社会を生き抜くためにつけてほしい力とは？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困難なことでも立ち向かっていく勇氣、自分を信じる力、乗り越える力</li> <li>・思いやりを持って、人の気持ちになって考えられる力。共生する力。</li> <li>・環境が変化しても適応する力</li> <li>・基礎学力を身につけた子どもに育ててほしい</li> <li>・自己肯定感を持ち、あきらめない力をつけてほしい</li> <li>・郷土を愛する気持ちをもってほしい</li> </ul>				
0歳から18歳までにどうい う体験・経験・機会があれば その力が身につくだろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のルーツやライフヒストリーを確認し、過去からつながっていることや自分の存在理由を感じて欲しい。</li> <li>・家族以外のつながりを持つことのできる経験</li> <li>・違う文化や環境に触れる。</li> <li>・大槌という町のなりわいを知る、誇りを持って仕事をしている人を見せる</li> <li>・ふるさと科は非常に重要。郷土愛を育むような教育をしてほしい。</li> <li>・失敗してもOK、何かにぶつかっていくことを賞賛し、助言をする体制</li> <li>・精神を強くすること含め、多少嫌なこともさせる</li> </ul>				
どうやったらその機会が作れ るだろう（どうやったら既存 の機会がもっと充実するだろ う）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区子ども会の復活。そうすることで多様な大人に出会うことができる。</li> <li>・たくさんの業種の職場体験をしたり、旅に出させる経験をさせたい。</li> <li>・子供だけではなく、大人も一緒に学ぶ。</li> <li>・大人が学びに来れるようなふるさと科があってもよい。</li> <li>・親以外から褒められたり、多様性を理解できるような環境を。</li> </ul>				

## ■当日の様子



## ■アンケートより

・もう少し子供たちが大槌に生まれて良かったと思うようにするためには、大人がそう思っていないとできないと思います。子どもと大人の両方を考えて進めていければいいと思います。

・「ふるさと科」はよく子供から話を聞くのですが、自分自身子供には教えてあげることが出来ないところまで体験など教えて頂いてとても良いことだと思っています。

・普段漠然と考えていることに対して、色々な人の考え方が聞けてよかったです。他の親が自分の子供に関してどのように思っているのか、どんなことを期待しているのかということを知りたかった。子供にも聞かせてあげたいと思った。

# テーマ分科会 「行政」

※頂いた意見は、有志の意見であり、立場を代表するものではありません

日程	7月5日(水) 10:00- 12:00	場所	大槌町役場	参加者数	18名
有志で考えた提示テーマ	「自主性」「行動力」、「自己課題解決力」を身につけた人で溢れる町に				
テーマに至った経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからの大槌に対する危機意識は非常に強い。</li> <li>・人口が減少し、行政の規模も縮小していく中で、町が抱える困難や、地域で起こる課題を自主的自発的に解決していく力がより求められる。</li> <li>・子どもたちにも誰かに整えてもらうことではなく、小さくてもよいから自分で行動できる機会をつくる必要があるのではないか</li> </ul>				
成り行きの未来	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き地だらけ。まち商店街に人がいなく、人気がない。閑散とした町に。</li> <li>・高齢者サービスばかりが充実している。</li> <li>・一次産業に従事する業者は更に減る。</li> <li>・高校は統廃合の対象となり、大槌からはなくなっているのではないかと。</li> <li>・祭りや自治会などのコミュニティを支える共通の取り組みもなくなり、機能しなくなる。</li> </ul>				
20年後の意志ある未来	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田舎の良さを活かした町にしたい。おじいちゃん、おばあちゃんが元気な町。</li> <li>・飲み屋も数軒あるような町に</li> <li>・若者も高齢者もバランス良く住んでいて、生き生きしている。</li> <li>・近所で子育てを支えてくれたり、教育の質が高いような子育てしやすい町に</li> <li>・高齢者が自分でもできる範囲を広げ、介護・看護の知識を町民の多くが持っている。</li> </ul>				
2040年 意志ある町にするためにどんな力が必要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立している、自己解決できる力、他人任せにしないで自分で行動できる</li> <li>・自分の町を魅力があると自分で思っている</li> <li>・心身ともに健康である</li> <li>・新しい取り組みを受け入れることができる、受容力、協調性</li> <li>・人との関係を深めようと思う、つながり構築力</li> <li>・住民自身で決定出来る力</li> </ul>				
上記の力をつけるために0歳～18歳にどんな「体験」、「経験」、「関わり」があったらよいか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段接することのない立場の人と関わる体験（親、先生以外との関わり）</li> <li>・上下関係やチームで取り組むことを学ぶことができる機会（部活動等）</li> <li>・一人ひとりが意見をもち発言できる場を増やす</li> <li>・郷土芸能、おじいちゃん、おばあちゃんから話を聞くことのできる機会</li> <li>・もっと子どもや生徒だけで自主的に先生任せではない活動をしたかった。</li> <li>・職場体験学習の充実</li> <li>・自分を見つめることのできる時間を増やす</li> <li>・外の世界にも触れることのできる経験を</li> </ul>				

## ■当日の様子



## ■アンケートより

・これまで教育について考えることはありませんでしたが、今回の「町の将来から教育を考える」という機会を通して、教育＝町づくりなのだと感じました。私自身が一住民としての目線を持って業務に携わり、0歳～18歳の方々にどんな機会を提供できるのか、したいのかを考えていくことが必要だと感じました。仕事の中で学園（小学部）に関わることもあるので、活かしていきたいと思います。

・違う世代、立場で話し合え、様々な意見や考えを聞くことが出来、良かった。20年後の大槌を思い、考える創造するなど、とても面白い時間だった。行政職として地域に寄り添うことをそれぞれが思っていることに希望が持てた。

# テーマ分科会 「沢山迫又地区」

※頂いた意見は、有志の意見であり、立場を代表するものではありません

日程	7月29日(土) 10:00- 12:00	場所	子ども教育センター 「OLA I」	参加者数	9名
有志で考えた提示テーマ	<b>主体的に行動ができ、相手に関わる力をつけていくためにも、地区で子どもたちが中心となった企画を行っていく必要がある</b>				
テーマに至った経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分とは異なる人との関わりを持つ力をつけてほしい。それは外の人であり、世代の違う人とも。また誰かの意見ではなく、自分から行動できる人を増やしていきたい</li> <li>・そのためにも地区で子どもたちが中心となって動くような企画をやっていきたい。それが出来れば地域の大人も動いていく気がする。</li> </ul>				
大樋の子どもたちにつけてほしい力とは	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分と関わったことのないヨソの人と関わる力。積極的に外に出たり世代が違う人と交流してほしい。関わり合う力をもってほしい。</li> <li>・人に優しさ、思いやりを持って感謝の気持ちを伝える力をつけてほしい</li> <li>・ダメなら次があると失敗してもチャレンジする力</li> <li>・相手のことを思いやり話を聞ける、協力しようという気持ちがある</li> <li>・主体的に行動ができる力</li> </ul>				
0歳から18歳までにどういう体験・経験・機会があればその力が身につくだろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちで何かをやるという経験をもたせたほうがいい。</li> <li>・地区行事として子どもが主体となる企画や色々な子どもが活躍できる企画があった。しかし人が集まらないという問題も同時に起こる。</li> <li>・道路掃除など以前は子供たちがやっていたことを今もやってはどうか。</li> <li>・地域だけで何かをやりたいではなく、子供たちがやりたいことを実現していくようなものなら地域もまたまとまるのではないか。</li> </ul>				
地区で応援、支えることができることはあるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会でまずはつながることが大事。誰かに負担が偏るのではなく、みんなで一緒にやっていければ。</li> <li>・夕涼み会、肝試し、キャンプ、地区対抗の行事、あいさつなどみんなでできるかもしれない。</li> <li>・地域の食材などを使った調理実習</li> <li>・学校が何をしてほしいのかと子どもたちが何をしたいのかを聞いてみたい</li> </ul>				

## ■当日の様子



## ■アンケートより

- ・震災後、何も考えないで生活するのでいっぱいでしたが、本日地域の方の話し合いができて良かったです。
- ・思ったことは話せたと思います。人数は少なかったけどその分、自分の意見は言えたかなと。
- ・まちづくりは人作り、人づくりはまちづくり。やり続けるしかないですね。頑張ります。